



こたけ

議会だより

第 213 号

平成28年 5月 1日

■発行 小竹町議会
 福岡県鞍手郡小竹町
 TEL 09496-2-1967
 FAX 09496-2-1140
 ■編集 議会広報編集委員会
 ■印刷 マツオ印刷株式会社



南小学校

入学式

4月
12日
(火)



- ◆ 平成28年度当初予算 2
- ◆ 平成27年度補正予算 4
- ◆ 主な議案 5
- ◆ 一般質問 7

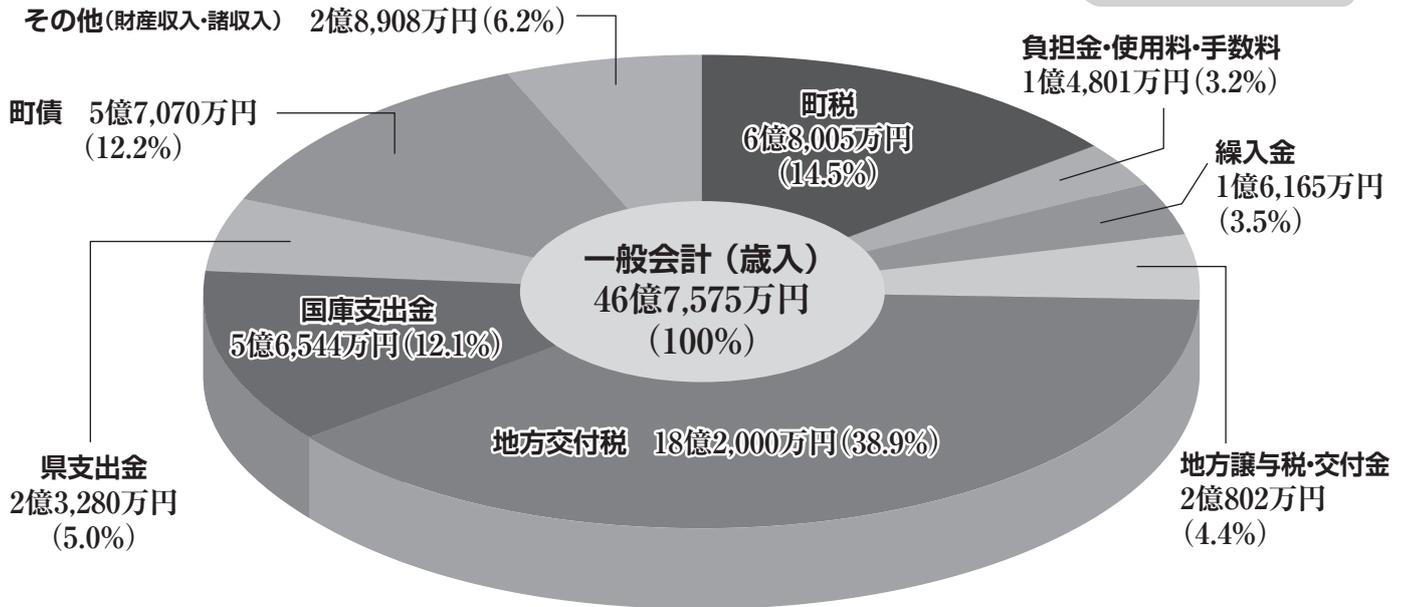
3月定例会

(平成28年3月3日～平成28年3月17日 15日間)

平成28年度当初予算

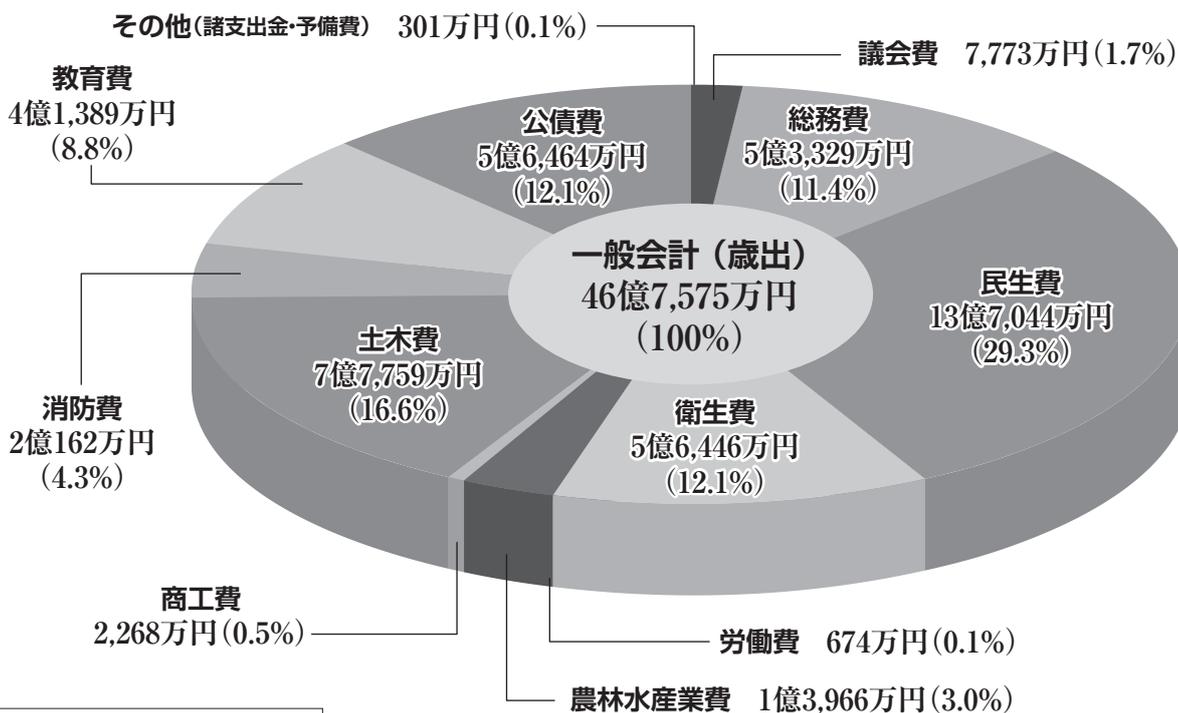
一般会計 …… 46億7,575万円
 特別会計 …… 27億 7万円
 総 額 …… 73億7,582万円

歳入



地方交付税……町が一定水準の事業を行えるよう、
 財政力に応じて国から配分されるお金
 町債……町の借金

歳出



公債費……町の借金返済金

一般会計予算
前年度比10.5%減

特別会計予算
前年度比0.3%減

依然として、厳しい財政運営が予想されますが、住民の福祉や健康、安全の保持、行政サービスの低下を招かぬよう、議会での慎重な審議を行ってまいります。

当初予算の主な事業

- 沓抜団地法面改修
- 米麦共同乾燥施設改修
- 御徳・頼田線道路改良
- 中島・芦北幹線道路改良
- 浄光1号線道路改修
- 蛇牟田川改修
- 御徳2区浸水対策

当初予算委員会の
主な質疑

問 町税の調定額および収納率が前年度と同額なのはなぜか、また収入確保の取り組みは

答 歳入欠陥を起こしてはいけないので、前年度の同等額を計上しています。収入の確保については、最大限優先してあらゆる手段を講じて行います。

問 要保護・準要保護及び生徒就学援助費の減額の理由は

答 ここ数年の実績に基づいて精査した結果で、制度の縮減ではありません。

問 要保護・準要保護及び生徒就学援助の対象となる世帯数の推移と就学援助の費目は

答 26年度より上昇傾向にあり、国の要保護・児童・生徒援助費補助金単価に基づいて設定しています。主な内容は、新入学時の学用品費・修学旅行費・給食費等です。

問 就学援助費の申請書の配布方法は

答 学校を通じて配布しており、就学支援の家庭にも行き渡っています。

問 狹隘道路は順次改修していくのか

答 経済的に有利な事業等の組み合わせの中で、財政が許す状況であれば検討していきたい。

問 米麦共同乾燥施設改修工事が計上されているが、工事内容は

答 平成26年度からの3年計画で、28年度は乾燥機を改修し、一連の事業を完了する予定です。

問 特別支援委託料について、小中学校それぞれ何人の支援員が予定されているのか、また業務及び継続の有無は

答 小学校に各1名・中学校2名の計5名です。業務は学習支援は出来ませんので、生活支援として授業に入ってもらっており、町の財政が許す限り継続していきます。

問 国保税の収納率を低く算定しているのはなぜか

答 28年度は、保険税の税率改正を行っており、歳入予算額は増額となっているが、前年度と同じにしています。

問 汚水処理施設の使用料・加入金について、農集排工リアに移住を促進するため、加入金の減額を行うべきでは

答 農集排と公共下水道との差がありますが、今後は担当課と検討します。

問 定住移住等々の観点からも公共下水道事業は不可欠とは思いますが、この事業を継続的にやるのか

答 流域下水道事業なので、小竹町単独で撤退は出来ないう状況です。今後は、下流域との合併など様々な方法で投資費用の削減・加入率の促進を図っていきます。

問 町立病院の一日当たりの医師一人の診療人数が、約17名と見積もられている理由は

答 入院患者の診察や他の業務もあります。

今後は医師の増員ができましたので、新患・急患の診療を行い収益増を図っていきたいと思います。

問 病院事業収益が前年度より減額やれている理由は

答 新しい医師が、どの程度の患者さんを診察出来るか不明なので減額算出しています。

問 病院事業管理者の平均月額給与が10万4000円増額になっているのは

答 病院職員には勤勉手当の支給がないので業績手当を支給しています。一般職員は勤勉手当の改正があったおり、その分を業績手当に転嫁したための増額です。

問 水道事業費用について施設の老朽化・修繕費等の増加との理由で前年度と同じ赤字予算で編成されていますが、今後の広域化等のビジョンは

答 広域化に向けてのビジョンはありませんが、27年度に水道事業の基本構想を策定しており、今後の水道事業の方向性を示しておりますが、近隣市町村との広域化の推進も検討していきたいと思っております。

平成27年度 補正予算

可決

一般会計：△1,337万円
特別会計：3,903万円

承認

一般会計：451万円

(国民健康保険特別会計 7,275万円)
(公共下水道事業特別会計 △3,347万円)
(病院事業特別会計 278万円)
(水道事業特別会計 △303万円)



補正予算委員会の主な質疑

問 担い手確保経営強化支援事業とは

答 意欲のある農業者が、売上高の拡大等の経営発展に取り組むために、農業用機械・施設等の導入時に補助するものです。

受給資格は中心的農業者かつ認定農業者・農地中間管理事業を積極的に実施している・売上高10%の拡大等の3つの要件です。

目標達成が出来なければ補助金返金もあり得る事業です。

問 広域入所児童委託料の減額の理由は

答 認定こども園の開園で町外への入園児が減少したためです。



問 地方創生過疎化交付金の計画が策定されていますが、この交付金を使ったまちづくりのビジョンは

答 生涯活躍のまち事業計画・運営計画・多機能多世代交流拠点整備等の検討委託を予定しています。計画書策定時に住民の方々の意見をお聞きして進めていきます。



問 ユニーク名刺デザイン委託料・お試し移住拠点整備業務委託料とは

答 ユニーク名刺は、観光まちづくりの一環としてユニークな名刺を作成し、町の知名度を高めようという目的です。

お試し移住拠点は、生涯活躍のまちの構想を推進するためのものです。



(写真はイメージです。)

3月定例会の主な議案

3月定例会は、3月3日から17日まで、会期15日間の日程で開かれました。
条例案・補正予算案等の議案が提出され、審議の結果、賛成多数で可決しました。

区分		特例	現行	差引	
町提案	町長 15%	月額	538,900円	634,000円	△95,100円
	副町長10%	月額	※491,400円	546,000円	△54,600円
	教育長 5%	月額	※494,950円	521,000円	△26,050円
	管理職手当5級	月額	39,680円	49,600円	△9,920円
	管理職手当6級	月額	41,520円	51,900円	△10,380円
区分 (議員修正案)		特例	現行	差引	
副町長 7%	月額	507,780円	546,000円	△38,220円	

第6次行政改革により、別表のとおり減額されます。
期末手当は昨年度と同額です。

小竹町特別職職員の給料・
管理職手当の支給特例条例

※町提案では副町長と教育長の支給額が逆転するため議員修正案により、7%の削減で可決されました。

区分		現行	町提案	議員修正案
教育委員会委員	委員長	309,700円	109,000円	202,400円
	委員	253,100円	109,000円	202,400円
監査委員	識見	236,500円	102,000円	189,200円
	議会	203,100円	82,000円	162,400円
農業委員会委員	会長	173,500円	94,000円	138,800円
	委員	147,500円	73,000円	118,000円
固定資産評価審査会委員		6,000円	3,000円	4,800円
附属機関の委員		4,900円	3,000円	3,900円

町提案は減額幅が大きいため、議員修正案が提案され、可決されました。

小竹町非常勤職員報酬
支給条例の一部改正

区分		特例	現行	差引	
報酬	議長 8%	月額	260,360円	283,000円	△22,640円
	副議長 5%	月額	228,950円	241,000円	△12,050円
	議員 5%	月額	213,750円	225,000円	△11,250円

危機的な財政状況の中、議会においても、自主的に議員報酬を削減するため、別表のとおり減額します。期間は現議員の任期満了までです。

小竹町議会議員報酬の
支給特例に関する
条例の制定

費用弁償条例の一部改正

議会議員・非常勤職員・附属機関の委員等の費用弁償が、一律500円に改定されました。

小竹町乳幼児・子ども医療費支給条例 一部改正

本年10月より乳幼児・子ども医療支給制度が改定されます。対象は入院外がこれまでの小学校3年生から6年生に、入院が小学校6年生から中学校3年生までに拡充されます。ただし、小学生の入院外は1医療機関につき、ひと月1200円を、入院は1医療機関につき、小学生1日500円(月7日を限度)、中学生は1日500円(月20日を限度)(※中学生は償還払い)を負担していただく必要があります。

小竹町高齢者福祉施設整備事業者選定委員会 条例制定

福岡県高齢者保健福祉計画に基づき、本町内に特別養護老人ホーム(60床)の建設計画があります。そのため選定委員会が設置されます。

小竹町立学校適正規模等検討委員会条例の制定

町内の教育環境を整備し、充実した学校教育の実現に資するための検討委員会が設置されます。



小竹町課設置 条例の一部改正

本年4月から新しく課が変わりました。産業課と生活環境課が統合され、農政環境課となります。

陳情・意見書

◎軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、その危険性や予後の相談のできる窓口などの設置に関する意見書採択の陳情	採 択
◎軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防及びその危険性や予後の相談可能な窓口などの設置に関する意見書	可 決

町長の施政所信表明 に対する質疑

中学校は町としては、公表しません。学校のホームページや学校便りでの公表となります。

問 庁舎建設はPFI事業による実施の検討を。また、安定した財源の確保をおこない、抜本的な見直しで、本町の身の丈に合った庁舎建設をすべきでは。

答 議会における、庁舎建設特別委員会での議論をしていただき、町の対応を決めます。また、公共施設等総合管理計画を本年度中に作成していきます。

問 補助制度については、国・県と協議しながら、財源の確保に努め、今後の人口の推移を十分に勘案し、PFI事業の実施に向けて調査検討していきます。

問 全国学力テストでの、本町3小学校の順位と正答率、また結果を公表する考えは。

答 結果は県内60市町村の中で最上位です。本町では、各小学校ごとにホームページで全国の平均正答率との比較での公表がなされています。

問 誘致企業の従業員数と本町在住の人数と正規社員非正規社員の比率は。

答 従業員数は915人で非正規が397人、出向者18人で町内在住は、106人です。

問 農業施策の中の地産・地消問題は。

答 本町独自の農業施策の中で地産・地消で農家を守りまします。

問 小竹駅西口開発は、青写真があるのか。

答 町民参加のプロジェクトチームで小竹町の中心拠点のまちづくりをすべきでは。

問 旧スプリット跡地を開発公社で購入しており、今後まちひとしごとの総合戦略を進めてまいります。

問 今後利用見込みのない公共施設は除去するのか。

答 公共施設等総合管理計画の中で検討します。



そこが知りたい 一般質問

●第6次行政改革大綱

和田 立美 議員

① 第5次までの行政改革の検証をし、何が原因で貧困で窮屈な町財政になったのか、しっかりと検証すべきではないか。

② 職員一人ひとりの能力・資質の向上を図る改革元年として職員の意識改革をどう進めるのか。

③ 町立病院の経営をどのように改善されるのか。

④ 経費の抑制として扶助費・補助費など20%削減を行おうとしている中で、65歳以上の年金受給者である委託者に対して賃金格差をつくるのは、法的に違反ではないか。

松尾町長

① 第6次の行政改革まで継続して検証をしています。

第6次行政改革には、取り組むべき事項について、未着手のものや達成度について評価を行うよう定めています。

② 4月から人事評価制度を実施します。この制度を通じて、職員の意識改革を行い、一人ひとりがゴスト意識を持って、業務改革や行政運営を行う必要性を最重要課題として考えています。

③ 町立病院は、地域医療を担う病院であり、経営改善に努めるべきと思っておりますが、第一に常勤医師の確保が必要であります。

常勤医師は、現在2名体制です。4月からは3名体制で取り組んでいきます。

地域医療の充実を図るためには、常勤医師4名以上の体制が必要であり、さらなる医師の確保に努めます。

④ 65歳以上の年金受給者の取り扱いについては、第4次行政改革から導入しており、第5次において継続し、現在もこの制度を適用していきます。

早急に労働基準監督署等関係機関に調査いたします。

●高齢者を取り巻く情勢 ●防災対策

水谷 日出男 議員

① 地方創生策として高齢者の生活の拠点となる生涯活躍のまちの(CCRC)構想は。

② 県介護保険広域連合における認定率及び給付状況。

③ 本町の介護認定率・給付状況及び将来に向けての施策。

④ 御徳三区の土砂・浸水災害対策。

⑤ 権現堂ため池への流水側溝の設置。

松尾町長

① 生涯活躍のまち構想の実現を図るため、元気な高齢者だけでなく、若い世代の家族層を中心とした民間住宅や商業施設など、本町へ移り住みたくなる仕掛けづくりに取り組みます。

② 広域連合内の8支部のうち鞍手支部が2番目に高い認定率及び給付状況であります。

③ 本町の認定率・給付状況は増加傾向にあります。

将来に向けての地域福祉計画の取り組みは、人づくり、地域づくりとして、住民・地域、行政との協働による地域福祉のまちづくりを推進します。

また、特別養護老人ホーム60床の計画については、福岡県の第7期保健福祉計画に基づき、設置されるものです。

④ 現地指導を県が行っており、実際に沈砂池の設置や雨水排水の庄内川への流れ込みはできています。

⑤ 流水側溝の設置は、周辺の状況や現状を踏まえて本町が設置することは困難です。

権現堂ため池の水質問題や防災対策に係る土砂災害防止などを進め、関係者や関係機関との協議のうえ、災害防止に努めていきます。

そこが知りたい 一般質問

●町立病院での予約患者以外の急患の受け入れ ●電力自由化に対する本町の取組

谷川 龍児 議員

- ① 町立病院は医師の増員と現状の予約システムを改善し、急患の受け入れを。
- ② 再生エネルギー使用の「地産地消」で電力確保を。
- ③ 料金削減のため入札による電力調整を行うべきでは。
- ④ 電力自由化の仕組み等について啓発や相談窓口の設置を。

松尾町長

① 本年度から常勤医師1名と木曜日・金曜日に非常勤医師の確保が見込まれ、急患にも対応できると思えます。
予約体制についても、新たな体制で、医師と十分に協議しながら、窓口のトラブルをなくし、住民の皆様が愛される地域医療を目指していきます。

② みやま市等の取り組みの動向を注視しながら、考えます。

③ 庁舎については、入札結果により、特定規模電気業者と1年契約をしています。その成果次第で他の公共施設も電力調整を実施できるような検討します。
④ ホームページ・広報などで啓発し、トラブルは商工観光係で対応します。



●農政新時代

吉野 欽也 議員

国では、環太平洋経済連携協定（TPP）の参加を踏まえ、農地の集約化や米の生産調整（減反）の廃止など、農業強化策を推進するとともに、意欲的な農家を後押し、国内農業の競争力向上を図っており、農政新時代ともいわれる新たな局面を迎えている。

① 兼業農家や小規模農家が多数占めており、TPP協定が締結されることは、農家経営がさらに厳しくなる。

安心して持続可能な農業経営ができる環境整備に向けて、どのような支援策を図る計画なのか。
特に畜産農家に対する支援策はどのようにするのか。
② 政府は、減反政策を平成30年度に廃止する方針を決定し、農家自らの判断で作物を作る農業を実現することとしている。
本町では、米生産農家が主流であり、今後どのような作物を作る農家へ誘導していくのか。
③ 農業委員会制度の改正に伴う定数の上限を何人とし、推進委員は委嘱をするのか。

松尾町長

① 本町では経営規模拡大によるコストの削減や差別化が可能な農産物の生産など、市場開放の荒波に負けない足腰の強い農業を実現できるよう支援をしていきます。
具体的な支援策は、今後の推移を見て、必要に応じて国、県と協議していきます。
② 水田フル活用ビジョン計画に基づき、麦、大豆等を作付けした場合、補助金を上乗せするなど、主食用米を多く生産しないことが、農家が安心して農業政策を行うための方策であると考えています。
③ 委員定数の上限は、現在の7人を維持します。
推進委員については現在検討中です。



●本町ごみ行政

宮野 一男 議員

大牟田リサイクル発電所は、平成34年度まで延長されることとが決定している。

① 平成35年以降のごみ処理。

② 出資金、施設の撤去費用。

③ 連携中枢都市圏構想で連携協約を締結した場合、ごみ処理にいかせるのか。

松尾町長

① 平成35年度以降のごみ処理については既存のRDF処理施設を継続させることを優先し、ごみの外部処理委託、またはごみ処理施設の新社について、併せて検討していくこととしていきます。

② 大牟田リサイクル発電所の出資金は、じん芥処理施設組合が200万円を出資しています。

仮に発電事業が終了する場合、解体費等を含めた事業清算に伴う諸費用に充当するよう、県に要望を行っております。

撤去費用の負担は搬入実績により算出され、当組合は全体の9%負担になると思われます。

③ 連携中枢都市圏

構想では圏域全体の環境保全及び循環型社会の構築に向けた取り組みを行うとされております。

ごみの広域処理は県北東部地方拠点都市地域整備推進協議会で取り組まれていきます。

1市2町のじん芥処理施設組合の構成市町で、平成35年度以降のごみ処理方法の決定とあわせて検討していきたいと思っております。



●ピロリ菌検査の実施 ●ヘルプカードの導入

大安 美佐代 議員

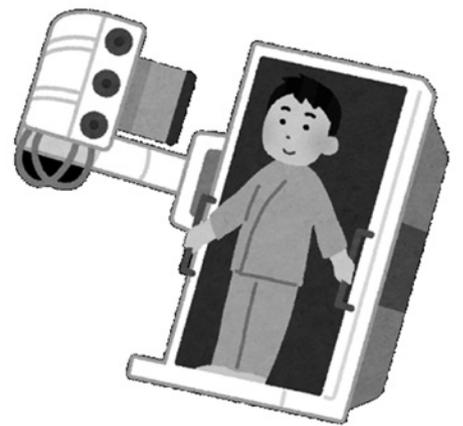
① 胃ガン予防のために、本町のガン検診にピロリ菌検査を実施しないか。

② 障害や難病を抱えた方や高齢者に対し、具体的な支援内容や緊急連絡先等を記入したカードを作成して、支援がスムーズに行えるようにすべきでは。

松尾町長

① ピロリ菌が胃ガンを引き起こす確率を高めるといことは、研究結果から明らかであると言われております。

本町では胃ガンの健診を受診される方は増加しており、ピロリ菌検査を本町のガン検診時に導入してはとのことですが、胃ガンの検診は法律に基づき、X線検査、または内視鏡検査となっており、ピロリ菌検査は含まれていません。



今後、ピロリ菌検査のあり方を国においても検討されていくと思うので、方針が決定され次第、速やかに検査を実施していきたいと思っております。

② 福岡県が本年1月に実施しました。

本町におきましても広報やホームページで周知を行い、役場窓口を設置して支援が必要な方にヘルプカードを配付しております。

障害者手帳の交付時にヘルプカードの周知も合わせて行っております。

常任委員会合同行政調査

(長崎県 東彼杵町 ・ 佐賀県 みやき町)

平成28年2月18日～19日

東彼杵町では、空き家制度についての調査をしました。

危険な空き家や景観の邪魔になる空き家は、町が取り壊し費用を負担して解体をする代わりに、土地を町に提供していただいているとのことでした。

翌日は、佐賀県のみやき町に伺い、定住総合推進事業について調査しました。

みやき町は、PFI方式で住宅建設がなされ、管理も全て建設した会社が行っていますので、町の負担は少ないとのことでした。

約6割の人が町外・県外からの若い入居者で、子育ての環境も整っていました。本町でも町営住宅の建設問題が浮上していますが、財政難の中で、いかに効率よく建設することができるとにかかっています。

この視察を参考に、議会においても議論を重ねてまいります。

(議会広報編集委員会 委員長 大安美佐代)



議会改革調査 特別委員会の設置

議会の可視化・活性化や、なお一層町民の皆様の意見を反映できるように議会運営を目指して、議員全員で構成される議会改革調査特別委員会が設置されました。

委員長 秋吉俊英
副委員長 吉野慎一

編集後記

新緑が美しい季節となり、卒業・入学・就職など、春は新しい門出の時期です。

3月定例議会も無事終わり、新しい町の方針が決定、小竹丸が船出したしました。議会でも新しく、議会改革調査特別委員会が設置され、今後さまざまな問題に、議員一丸となって対処してまいりますので、よろしくお願いたします。

(議会広報編集委員会 委員 秋吉俊英)

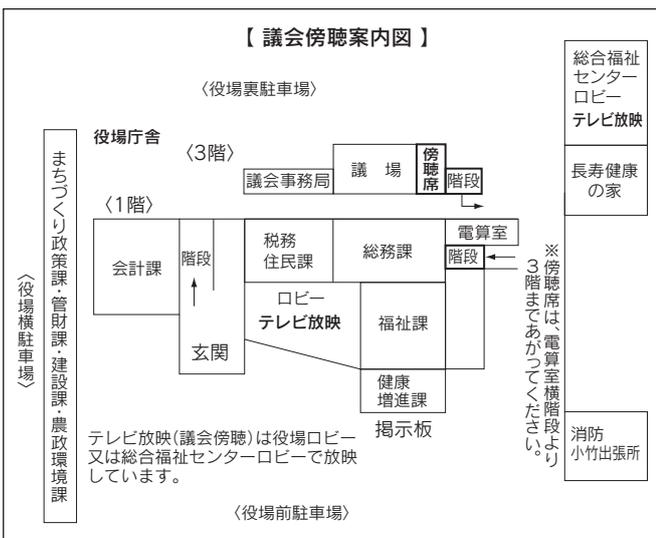
議会を傍聴してみませんか

議会の傍聴は、手続きが面倒と思われることはありません。傍聴の手続きは、受付簿に住所、氏名、年齢、性別を記入するだけです。議会は、予算や条例をはじめ、行政に対する一般質問など、住みよいまちづくりをめざして審議をしています。

なお、定例会の開催予定日が近づきましたら、役場の掲示板、ホームページでお知らせします。傍聴場所は、役場3階議場内傍聴席です。また、テレビ放映による傍聴は、手続きは不要で役場1階ロビー、町総合福祉センターでできます。詳しくは、議会事務局まで、お気軽にお問い合わせ下さい。

電話 ②-1967

【議会傍聴案内図】



次回の定例会は、**6月9日(木)** 開会予定です。
※事情により変更される場合もありますので、あらかじめご了承ください。